

学級経営案（1-6）

実習生：古田 啓

1. 学校教育目標（本年度の重点目標）

① 地域の教育をリードする活力と魅力の向上への挑戦

- (1) 生徒のやる気と潜在能力を引き出すために、授業の改善・充実を図る。
- (2) 併設型中高一貫校の開校に向けて内外の環境整備の取組を推進する。
- (3) 国際的な自然科学研究をリードする人材を育成するため、SSH 事業を推進する。
- (4) 学校の教育活動等の内容・魅力を積極的・効果的に発信し、地域や中学校等との連携・協力を推進する。

② 一流を目指す人間の育成

- (1) 自主自立型人間として、価値ある生き方を求めて努力し、広く国際社会や地域社会に貢献する人間を育成する。
 - a) 生活規律を維持・向上させ、学習習慣を確立させる。
 - b) 自律性や社会性及び奉仕の心を育成する。

（重点目標）

- 1) 人に先んじた気持ちの良い挨拶
- 2) 社会人として通用する端正な服装
- 3) 正しい姿勢・正しい言葉遣い
- 4) けじめある行動

- (2) 生徒の「知的能力」を向上させる。
 - a) 個々の生徒が持つ個性や能力の十分な伸長を図り、自ら学び自ら考える力を育成する。
 - b) 科学部を重点的に育成する。各種科学コンテストの上位入賞を目指す。
 - c) 課題解決能力・科学的能力等を向上させる。SSH 事業を通して課題を発見し、自ら探究し解決する能力を育成し、科学的資質及びコミュニケーション能力を高め、思考力・判断力を育む。
- (3) 生徒の自主活動を充実させる。

勉学と自主活動の文武両道を実現させ、心身ともにたくましい生徒を育成する。

（ 2013 年度学校目標・計画より）

2. 学年教育目標（本年度の学年経営の重点：学校教育目標を参考に作成）

<1年>

- (1) 自主自立的にけじめある行動をする基盤を育む。
 - a) 自発的に挨拶を行う習慣をつけさせる。あいさつ運動や始業の挨拶の徹底。
 - b) 時間に従い行動をするよう徹底。1分前着席の活動。
 - c) 服装の乱れに注意する。
 - d) 以上のけじめある行動を自主的に出来るよう生徒間の注意喚起を促す。
- (2) 自主自立的に学習に取り組む基盤を育む。

- a) 予習・授業・復習の基本的な学習習慣を定着させる。
- b) 自発的に自己学習を行う習慣をつける。
- c) 進路についての具体的な考えを持てるよう促す。
- d) 授業以外のところでも、読書をする事などを通して幅広い教養を身に付けるようにする。

(3) 実りある人間関係の形成

- a) 友人を尊重し、ともに学びあう姿勢を促す。
- b) 部活動や十六夜祭を通し、幅広く多くの友人や先輩後輩と人間関係を築けるよう促す。

3. 学級教育目標

学年教育目標に従う。

4. 学級の実態（1年6組, 男子 19名, 女子 21名, 計40名）

学級の特徴としては、生徒同士が比較的良好な関係性を保っている学級であるため明るい雰囲気を持っており、授業中の活動などでも積極的な活動が見られる。また、その明るさが良い方向に働いている時には、挨拶や掃除など規律面でも良い姿を見ることが出来る。一方で、そうした点が授業中の私語に繋がったり、整理整頓が出来ていない状態に繋がるなど必ずしも規律の維持に繋がっていない場合がある。また、クラス全体として活発な雰囲気が中心となっはいるが、一方で発言の少ないおとなしい生徒も3分の1弱ほどいる。

教員の指示に反抗することはほぼ無く、私語等も注意すれば収まる。ただし、一定期間経つと再度、規律が乱れがちである。

5. 学級経営の重点

<基本的計画>

	1 学期	2 学期	3 学期
学 習	基本的な学習サイクルを身に付け定着させる。	基本的な学習サイクルを維持するとともに、自発的に学習できるようにする。	自分の学習課題を見つけ、その対応策を考え実行に移すことが出来るようにする。
生活 人間 関係	基本的な規律を身に付けさせる。学級内での自分の役割を果たす。学級内で自分の居場所をそれぞれが持つ。	自発的に規律を守る行動に出るようさせる。自分のグループを越えた人間関係を持つ。	クラス全体として、お互いの事を考え行動できるようにする。

進路	幅広く進路について考える機会を持つ。	具体的な希望の進路を想定できるようにする。	希望の進路に向かって努力を始める。
----	--------------------	-----------------------	-------------------

<1学期>

○ 学校行事日程

月	全校行事	クラス/学年行事	その他
4	8 始業式 12 新入生歓迎会・ 部活動オリエンテーション 23 生徒会立会演説会 30 生徒会役員交代式/美作総体結団式		10・17 個人面談 18,19 身体測定・検診など
5	美作地区総体 20・23 中間考査 28 生徒総会	上旬 合唱大会	
6	1,2 県総体 25 十六夜祭部門決定	4 一年団実力テスト 未定 社会人講演会	10・ 実力テスト明け面談
7	1・5 期末考査 13・15 進研記述模試 16 十六夜祭選手選考 19 終業式、十六夜祭結団式	8 校内大会	22・31 三者面談

○ 具体的方策

まずは、生徒間の人間関係の構築に重点を置きたい。特に本学期は学級で行う活動が比較的多く、そうした機会を有効活用したい。例えば、合唱大会などの機会を利用し生徒が積極的に交流できるよう心がける。また、部活動や生徒会活動等も積極的に参加を促し、校内での活動に生徒が積極的に取り組めるよう心がける。また、教師生徒間の関係も重要であるから、本学期の早い段階で生徒それぞれの特徴をつかみ、生徒それぞれにあった支援を行えるようにする。面談も学期を通して最低3回は行う計画である。また、7月にある校内大会はクラスの団結を図る機会である。校内大会前からクラス全体でまとまり頑張る雰囲気出来るようスローガンの作成などを考えたい。

本学期は3年間の最も初めの段階であり、学校生活の基礎が作られる段階である。したがって、服装や時間厳守、また挨拶などの基本的な習慣を身に付けさせるよう注意喚起を積極的に行う。時間厳守については「3分前集合1分前着席」を目標とし、挨拶も授業開始前の挨拶に注意することはもちろん、登下校時の挨拶も注意する。

学習については、入学したてということもあり、高校での量の多い学習に苦しむ生徒が多いことが想定される。そこで、1学期の早い段階でタイムマネジメントシートのようなものを提示するなどして、積極的に生徒が時間管理を行うよう促す。また、予習・復習といった点がこなせていない生徒については把握するよう心がける。

進路学習については社会人講演会などの話を聞く機会を通して、生徒が幅広く職業などについて考える機会を提供したい。

< 2 学期 >

○ 学校行事日程

月	全校行事	クラス/学年行事	その他
8	19 始業式 20 オープンスクール	東大研修（希望者）	
9	5・7 十六夜祭	17 進路講演会	
10	1 ウォーキング大会 15・18 中間考査 18 芸術鑑賞会 創立記念日講演会	3 一年団実力テスト 17 進路説明会	10 実力テスト明け面談
11	2,3 進研記述模試 日未定 防災訓練		
12	2・6 期末試験 24 終業式	25・27 特別授業	25・27 三者面談

○ 具体的方策

2 学期には、1 学期に構築した人間関係をより拡張出来ることを目指したい。特に、9 月の頭に十六夜祭（文化祭および体育祭）があり、普段のグループや学級を越えた人間関係を築くことの出来る機会であるので積極的に支援を行う。まずは、生徒それぞれが自分の関心に応じた活動に参加できるよう配慮する。その上で、特に 1 年生ということもあるので、クラスでの活動などには教師も積極的に計画・準備に協力することでクラスの統一を図る。また、普段の学級経営においても積極的に普段関わりの少ないメンバーを交流させる機会を促したい。

基本的な習慣については、1 学期が終わり 2 学期に入るに当たり、慣れなどから規律が緩んでしまわないように夏休み明けは注意をする。その上で、単に注意するだけではなく積極的に生徒の側から規律を守る上での目標決定を行わせるなどの活動を通して、自ら規律を守っていくという姿勢へつなげたい。

同様に学習に関しても、2 学期に入り中だるみしないよう注意をする。特に、十六夜祭前後に注意をする。それ以降は毎月テストがあるため、テスト前には生徒に学習計画を立てさせるなどして、自律的に学習を進められるよう促していく。また、2 学期には東大研修や芸術鑑賞会、また創立記念日の講演などで普段の学習以外の学びの機会がある。そうした機会から生徒の関心を引き出せるよう取り組みたい。

< 3 学期 >

○ 学校行事日程

月	全校行事	クラス/学年行事	その他
---	------	----------	-----

1	8 始業式 18 進研記述模試	4・6 武蔵セミナー（希望者）	
2	1 ハイレベル模試（希望者） 24・28 学年末考査 28 卒業式予行	6 一年団実力テスト	
3	1 卒業式 20 終業式 (未定) テーマ学習発表会	5 校内大会 15 スタディサポート	

○ 具体的方策

3学期は、1年の締めくくりとしてお互いの事をおもいやることの出来る学級を目指したい。その上で、2年生に上がることを考慮しつつその準備も出来るようにする。特に、学習面では武蔵セミナーやハイレベル模試といったものが上位層には開かれ、一方で下位層～中位層はそれまでの学習の不足点を補い自己学習を進めることの出来るような指導を進める。

また、3学期には生徒の文系・理系の進路も決定するため、その進路も考慮しつつ具体的な学部や大学の志望を明確にしつつ、自己の課題を把握できるよう支援する。

6. 学級開きのねらいと内容

<ねらい>

- ・1年間学習・学級活動を進めていく上での教師の提示する目標を生徒に理解させる。
- ・また、生徒にも各自の目標を設定させる。
- ・クラスメイトについて知る機会とする。
- ・学級運営を進めていく上で必要な役割（係・委員会）の説明と指示をしておく。

○ 目標を持たせるために

→一年間の目標を上記の<基本的計画>に沿って明確に示す。

→ハンドアウトを配布し、生徒の目標を書かせる。回収して教師が保管。

(→初めのころの学級通信の材料にする。など活用する。)

(→後日でもよいが、学級目標を決める。連帯感を持たせる。)

○ クラスメイトを知る

→生徒にひとりずつ自己紹介をさせる。(名前・出身中学校・趣味・高校でやりたいこと)

(時間がかかっても全員の前でひとりひとりさせる。自己紹介無しではお互い関わりづらい。)

○ 役割の説明と指示

→日直当番の役割の説明。(板書を消す、集配物の管理、連絡係) また、日直当番は日替わりで出席番号順であることの説明。

→班の指示。

→掃除の役割の説明。（2週間で場所の交代。班ごとに掃除）

（→委員会決めについて。別にLHRを設けることが出来れば後日が良い。）

→1分間スピーチの説明。（SHRで1人ずつに1分間スピーチをしてもらう。出席番号順）など

○ その他

→年度初めの行事連絡

→配布物

7. 学級の係活動

○ 当番制

・日直当番（男女1名ずつ）：板書を消す、集配物の管理、連絡係、日誌の記入

→毎日、前日の日直が翌日の日直の名前を黒板に書くようにする。

・掃除当番：班別に掃除場所を指定、2週間ごとに掃除場所の交代

→掃除場所：教室、廊下、教室横トイレ、職員室、職員室前廊下、ホール 6か所

・1分間スピーチ当番：当番制で1日1人ずつ発表

○ 委員

・学級代表（男女1名ずつ）：学級代表会への出席、号令、LHRでの司会など

・図書委員（同上）：図書室当番。図書室の業務、図書だよりの作成など。

・体育委員（同上）：体育の実施場所などの授業連絡。体育の時間のリーダーシップ。

・保健委員（同上）：クラスの健康観察。体調が悪くなった生徒に付き添うなど。

・風紀委員（同上）：クラスの規律の管理。服装チェックなど。

・選挙管理委員（同上）：生徒会選挙の際の業務を担う。

・文化祭実行委員（同上）：文化祭の運営関連の事項の決定など。

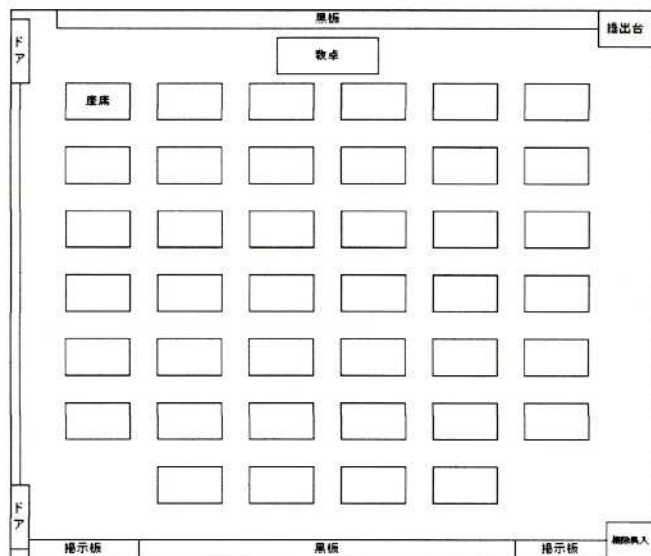
8. 教室内の環境づくり

（左図：教室概観）

・掲示物は授業の妨げとならないように教室の側面あるいは背面の黒板に掲示する。ただし、見落としやすいため、重要な物についてはSHR等で注意喚起を忘れないようにする。

・授業連絡については教室側面の黒板を用いて、毎日連絡されるようにする。連絡係りを決定して担当させておく。

・掃除の行き届いていないところが無いように放課後や始業前に教師が確認をしておく。



- ・ 黒板は授業前（後）には必ず日直当番の生徒がきれいにするようにする。
- ・ 机の乱れや床にかばんが散乱しているなどした場合は逐次注意をする。整理整頓の徹底。
- ・ 教室設置の棚を利用して学級文庫を設置する。また、それらは教師私物の本となるので持ち帰りの際には教師へ報告させるなどのマナーを身に付けさせる。
- ・ 窓の掃除は定期的に行う。明るい教室となるよう心がける。

9. 保護者との連携

○ 年間行事予定

1 学期	2 学期	3 学期
5/18 PTA 総会 7/22-31 三者面談	12/25-27 三者面談	2/18 PTA 役員会

○ 具体的方策

- ・ 学級通信を 2 週に 1 枚を目安に発行し、学級の様子を家庭に知らせる。
- ・ 面談では、生徒の様子を伝えるとともに、生徒の進路や生活についてともに考える機会を持つ。
- ・ 問題が起きた際には、家庭訪問・電話連絡等行い家庭との連携を密にする。
- ・ 学校公開日（参観授業）の際には、授業後に保護者の方と話し合うことの出来る機会を設けたい。
- ・ PTA・クラス役員に関して、初回の保護者会などで保護者と連携しつつ話し合い役員を決定する。

10. 学年経営との調整等

○ 会議日程

- ・ 月・水・金 8：15～ 学年教員会議
- ・ 金 4 時限 担任会議
- ・（日時未定）教科会議

○ その他

- ・ 授業の変更に関しては、職員室の黒板に記入する。
- ・ 学年主任や部活動顧問との情報共有。

11. 学級事務関係

○ 調査票関連

- ・ 生徒要録の記入と保管
- ・ 健康診断表の管理
- ・ 出席簿の整理・管理
- ・ 児童・生徒の諸調査票など

○ その他

- ・ 生活保護関係

学級経営案（1－6） 古田 啓

- ・教科書・副教材関係
- ・学級会計